

# 保健室だより

2023.12月 和工定時制保健室



2023年も残りわずかとなりました。1、2学期仕事と学校の両立頑張りましたね。お疲れ様です。寒くなりました、体調を管理して過ごしましょう。

## 感染性胃腸炎(病原体がノロウイルス)について

例年12月中旬頃にピークとなる感染性胃腸炎のうち特にノロウイルスによる集団感染が多く見られます。

感染性胃腸炎の原因となる病原体は、ノロウイルス一つではありません。

ロタウイルス・サポウイルス・アデノウイルス・アストロウイルス・パレコウイルスなど多くのウイルスが原因です。

これらのウイルスに効く薬はありません。

ノロウイルスの潜伏期間は、24～48時間です。

症状は、腹痛・発熱・はき気・おう吐・下痢が1日数回から10日以上続く場合もあります。

感染経路は感染者の便やおう吐物に大量のウイルスがあり、これら飛び散ったウイルスを触って口の中へウイルスが入る事で感染します。

糞口感染(感染者の糞便・おう吐物が口腔を経由して感染)と呼ばれています。

器物や手指に付いたウイルスが口に入って感染する事もあります。

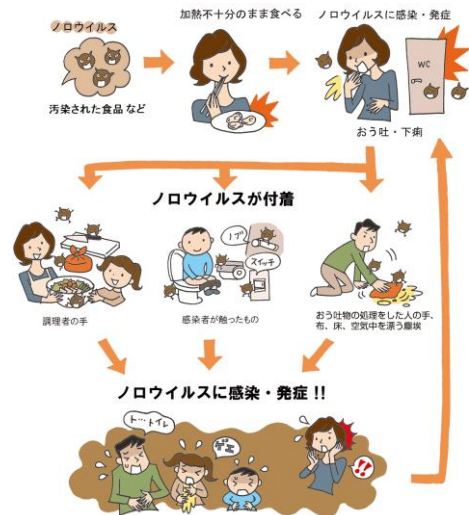
トイレの清掃と消毒、そして食事の前やトイレの後は感染予防の基本である手洗いをしましょう。

下痢便やおう吐物の不適切な処理が集団感染をおこします。

便やおう吐物の処理や感染者が触ったドアノブ・スイッチ・便器には、消毒用アルコールでは効果が不十分で、キッチンハイターなどの塩素系消毒薬や漂白剤、または85℃で1分以上の加熱が有効とされています。

次亜塩素酸ナトリウムで死滅します。

感染したら病院受診をして医師の指示に従いましょう。



学校保健安全法施行規則では、感染性胃腸炎(ノロウイルス)は学校感染症第3種のその他の感染症に属します。原因がノロウイルスであること、重い症状であること、集団感染をしている場合などが、出席停止対象になります。

### 第3種 学校感染症とは

下記疾病の病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで出席停止とする。

コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、

その他の感染症（必要があるときに限り、校長が学校医の意見を聞き第三種の感染症として緊急的に措置をとることができるもので特定の疾患を定めていない）

\* 感染性胃腸炎については、原因がノロウイルスということが明らかで重症の場合や、集団感染の場合等は、出席停止の対象となることが考えられるので、学校医や教育委員会と相談することになります。

## 小・中・高の児童生徒の裸眼視力1.0を下回る！！



文部科学省は1948年度から学校保健統計を毎年実施しています。

2022年度については、2023年11月28日公表しました。

小・中・高生徒の視力悪化、1.0未満がさらに増加とのことです。

このことについて、スマートフォンの利用時間が増えるなど「児童生徒を取り巻く環境の変化が原因」としてます。

320万人を対象に裸眼視力が、1.0未満の割合は、小学校が37.8%（前年度36.8%）

中学生が61.2%（前年度60.6%）

高校生が71.5%（前年度70.8%）

それぞれ学年が上がるごとに割合は増加しています。本校定時制は63.1%（前年度55.0%）

日常生活の中で、スマートフォンやパソコンの利用時間は、30分使用したら30分遠くを見たり、目を休めること。前屈みにならず、スマートフォンやパソコン使用時の姿勢に注意をする。画面からの距離に注意をして使用しましょう。

### 感染症対策を継続しましょう。



現在、和歌山県はインフルエンザ注意報基準値を超えています。

「換気」

「石けんによる手洗い」

「咳エチケット」



### 冬休みの生活を計画的に過ごしましょう

誘惑にまけないください！

